

地域の経済動向(令和5年7~9月期) 《釧路・根室地域》

1 経済動向に係る企業等の声(7~9月期)

【製造業】

- ・ キャンピングカーなどで観光客が訪れるようになり、チーズ販売の機会も増えた。(食料品製造業)
- ・ 事業再構築補助金を活用し、水産業から菓子製造業へと異業種に転換した。(食料品製造業)
- ・ 油脂や小麦の価格高騰は深刻だが、製品の値上げに踏み切るタイミングが難しく、過去1回の値上げにとどめている。(食料品製造業)
- ・ 営業職が不足しており、物産展や催事に人を派遣できない。(食料品製造業)
- ・ これまで商品の主力だったイカの漁獲量が9割減少したことで、昆布や鮭などに魚種を転換して商品を製造している。(水産加工業)
- ・ 観光客が戻ってきており、カニを買い求めに来ることも多いが、国産のカニは、ロシア国境付近で漁ができないなどで、品薄であり入荷できない。(水産加工業)
- ・ 珍味の製造・販売は8月のお盆とお正月の時期が需要のピークであり、今時期はお盆シーズンのために生産ラインをフル稼働している。(水産加工業)
- ・ コロナ禍で宅飲みの習慣が出来たことで、需要が増えて業績が伸びた。(水産加工業)
- ・ 売上は伸びているが、求人にあまり応募がなく人手不足ため、事業の拡大ができていない。技能実習生は、生活環境を整えるなどの対応が難しいため、採用できていない。(水産加工業)

【卸売・小売業】

- ・ 飲食店用テナントの賃料が上昇傾向にあり、食品小売業は高級果物などの販売が少なく前年比9割を割り込んだ。(金融機関)

【サービス業】

- ・ 利用客数はコロナ禍前の水準に戻っており、国内は道央圏や関東圏からが多く、外国人は台湾・香港・マレーシア等のアジア圏からが多い。(宿泊業)
- ・ 「さんま祭り」が予定されている10月までは、宿泊予約が埋まっているが、それ以降は空室もある。来年1~2月のバードランドフェスティバルの時期は宿泊予約が増加する見込み。(宿泊業)
- ・ コロナ禍で清掃スタッフとの契約を解除したが、客足が戻っている現在、以前のスタッフは高齢などの理由で復職してないため、人員はやや不足。宿泊業は7月8月の繁忙期は人手が足りないが、閑散期には余ってしまう。(宿泊業)
- ・ フロアの接客係の人員が不足しているため、大人数の宴会は断っている。(宿泊業)
- ・ 現在約70人の外国人従業員がいるが(正規労働者約30人、パート、インターン等約40人)、今後もっと外国人を雇用したい。(宿泊業)
- ・ 観光は明るい兆しが見えるが、一部地域では知床遊覧船沈没事故の影響を受けている。特に知床~川湯の観光ルートがある弟子屈町の川湯温泉地区は、知床に影響を受けて減少しており、コロナ禍前の約7割となっている。阿寒地区は、コロナ禍前と比較して売り上げで95%、客数では75%程度回復。(金融機関)
- ・ 酪農は、大規模な事業者で業績悪化や離農が目立つ。飲食は最悪期を脱出している。(金融機関)

【関係機関・団体】

- ・ どの企業も人員確保に苦労しているが、特に土木・建築・情報処理など技術職の人材が不足している。若者の絶対数の減少が要因だと思う(商工会議所)。
- ・ 大学3年生のインターン時期に内々定を出す企業もあるなど、人材競争が年々激しくなっており、5月に商工会議所、釧路市等と一緒に合同企業説明会を開催したが、開催時期としては遅いタイミングとなってしまう。高校生の就活解禁時期が9月なのであまり早い時期の開催も出来ない(商工会議所)。
- ・ ゼロゼロ融資から伴走支援型への借り換えで、酪農とスナック系以外では倒産・廃業は少ない。(金融機関)

2 道内金融機関から見た地域景況感(7~9月期)

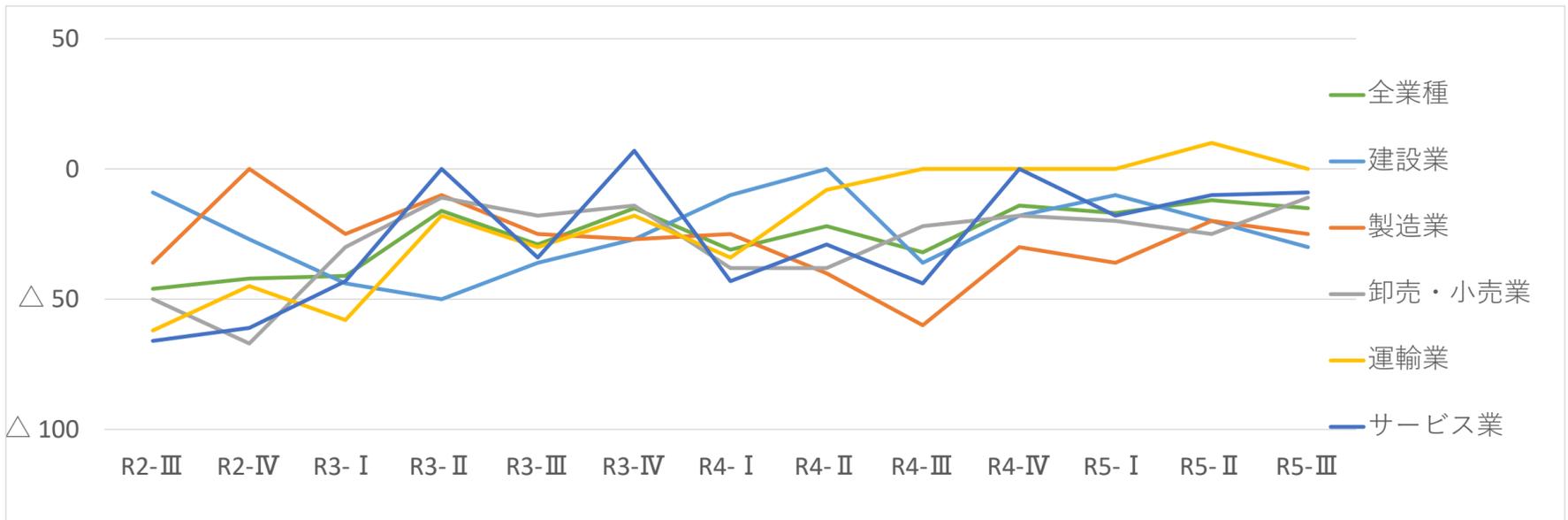
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
釧路信用金庫				引き続き飲食業・宿泊業、観光関連産業で持ち直しの動きが続いているが、それら業種でも人手不足の影響で売上げが伸び悩む事業者もみられた。また、燃料価格や物価高騰に苦慮する業種も多く、価格転嫁が進んでいない事業者もいることから、持ち直しの動きはみられるものの、前期同様「普通」と判断した。		人手不足の影響や物価高騰の影響が続くことが予想されることから、「変わらない」と判断している。
大地みらい信用金庫				新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、観光客の入込状況が回復してきており消費の回復につながっている。 当地域では一次産業(漁業・酪農)が主体であり、生産者においては資材や飼料価格の高騰、燃料価格の上昇で収益性が低下し厳しい経営環境が継続。 またALPS処理水の海洋放出に伴う、水産物への風評被害の影響も懸念される。 総合的には消費動向の回復よりも、生産動向の落ち込みが上回るため、「やや低調」と判断した。		生産動向がしばらく厳しい状況となる見通しから、今期の景況感と「変わらない」と判断した。

	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II	R5-III
釧路信用金庫								
大地みらい信用金庫								

3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II	R5-III
全業種	△ 46	△ 42	△ 41	△ 16	△ 29	△ 15	△ 31	△ 22	△ 32	△ 14	△ 17	△ 12	△ 15
建設業	△ 9	△ 27	△ 44	△ 50	△ 36	△ 27	△ 10	0	△ 36	△ 18	△ 10	△ 20	△ 30
製造業	△ 36	0	△ 25	△ 10	△ 25	△ 27	△ 25	△ 40	△ 60	△ 30	△ 36	△ 20	△ 25
卸売・小売業	△ 50	△ 67	△ 30	△ 11	△ 18	△ 14	△ 38	△ 38	△ 22	△ 18	△ 20	△ 25	△ 11
運輸業	△ 62	△ 45	△ 58	△ 18	△ 30	△ 18	△ 34	△ 8	0	0	0	10	0
サービス業	△ 66	△ 61	△ 43	0	△ 34	7	△ 43	△ 29	△ 44	0	△ 18	△ 10	△ 9

4 各種経済指標

